

## 教員業績等一覧

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
池原 厚志	学士(理学)	<p>①教育課程論、エネルギー環境教育</p> <p>②日本エネルギー環境教育学会</p> <p>③学内広報誌「月刊秀明」(秀明出版会)のコラム「教育データボックス」を毎月連載中。2008 年以降の最近のテーマは、「教員免許取得状況と教員採用状況」、「全国学力テストと国際学力比較調査」、「学習指導要領の改訂」、「教育基本法と学校教育法の改正」など。</p> <p>研究発表会:「環境社会検定試験における環境用語の重要度分析」(2010年5月)、「全国学力・学習状況調査の都道府県別成績の分析」(2009年10月)</p> <p>研究紀要論文:「明治中期から戦前までの中等・高等教育機関在学率」(2008年3月号)</p>
大城 嘉規	学士(文学)	<p>①認知能力と役割取得能力の発達による道徳性の発達</p> <p>②日本道徳性発達実践学会</p> <p>③『中等教育の使命と実践』(2008年、秀明出版会、共著)、「実践報告 ジレンマ授業の学習指導案作成指導」(2009年、秀明大学教職員研修発表会)、「調査報告 静岡県浜松市の外国人児童就学保障の現状」(2010年、秀明大学教職員研修発表会)など</p>
川島 淳夫	体育学修士	<p>①ラグビー指導法、ラグビーの歴史</p> <p>②日本体育学会、日本スポーツ法学会、日本ラグビー学会</p> <p>③「キッズラグビー個人スキルの指導」(共編著、2007年、日本ラグビーフットボール協会)</p> <p>「ミニ・ラグビー指導の手引き2002」(共著、2002年、日本ラグビーフットボール協会)</p> <p>取得資格 International Rugby Board Coach Educator(2007年)</p>

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
中村 修吾	学士(教育学)	①剣道指導方法・武道必修化における問題点 ②日本武道学会 ③日本武道館発行月刊「武道」(1990年4月)に中学・高等学校での剣道指導実践記録を発表 学内教員発表会において、武道必修化における問題点を発表(2008年6月) 川越市中学剣道専門部審判指導員 審判講習会講師(1990年から1998年) 埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部審判員(1980年から1998年) 学内教員発表会において、武道必修化における問題点を発表(2008年6月)
馬場 伸夫	修士(会計学) 学士(会計学)	①カラーコーディネーター・マーケティング、企業価値、企業統治 他 ②日本税務学会、日本経営教育学会 他 ③・共著:『企業統治と企業価値』2003年、全日本法規研究 ・社会活動 NPO 法人シティーデザインネットワーク八千代:監事 ・資格:税理士(東京税理会・足立支部所属) 経営改善専門指導家(八千代商工会議所認定) 1級カラーコーディネーター・ファッション色彩(東商認定)
平井 正一	学士(文学)	①「源実朝」論 ②なし ③「源実朝」と和歌 教員研究発表会
中島 理暁	Master of Arts	①現代医学史・生命倫理学・医療政策 ②American Association for the History of Medicine/ American Society for Bioethics and Humanities/ American Public Health Association ③<論文>「倫理委員会の脱神話化」<翻訳・解題>「死にゆくブライアンを前にして:インフォームド・コンセントのレトリックと現実」 共に『思想』977号 2005年 岩波書店 <訳書>『誠実という悪徳:E.H.カー1892-1982』2007年 現代思潮新社(共訳)<学会発表> “Lost in Translation or Finding New Language?: Bioethical Discourse on End-of-Life Policy in Contemporary Japan.” Annual Meeting of the American Society for Bioethics + Humanities, Oct. 15-18. 2009

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
藤原 敬一	修士(国際経営学)	①経営戦略 ②経営史学会、日本経営教育学会 ③著述(共著)「平成 22 年会計士論文試験出題分析「経営学」」『会計人コース』2010 年 11 月 論文(単著)「前近代における陶磁器業の技術革新」『秀明大学紀要第 7 号』2010 年 3 月 著述(共著)「平成 21 年会計士論文試験出題分析「経営学」」『会計人コース』2009 年 11 月 論文(単著)「産業集積における競争戦略」『秀明大学紀要第 6 号』2009 年 3 月 著書(共著)『ビジネス実務演習』文教ニュース社、2006 年 8 月
太田 理恵子	修士(商学)	①日本企業の研究開発組織におけるコミュニケーションに関する実証研究 ②組織学会、日本経営学会、一橋商学会 ③「組織の地理的統合とコミュニケーション・パターン:物理的構造と組織構造という要因に注目して」,『一橋商学論叢』, 白桃書房, Vol.3, No.1, pp. 60-70, 2008. 「研究開発組織の地理的統合とコミュニケーション・パターンに関する既存研究の検討」,『一橋研究』, 一橋研究編集委員会, 第 32 巻第 4 号(通巻 158 号), p.1-18, 2008.
上野 戊琉	商学士	①外国為替相場理論研究 ②なし ③「チャート分析による実践的為替相場予測」(教員研究会発表、平成 20 年 9 月) 「私立大学に対する行政の規制と支援」(秀明大学紀要、平成 15 年 3 月)
倉持 眞由美	学士(教育学)	①「新学習指導要領に即した小学校家庭の指導の在り方」 ②なし ③「勤労観・職業観を育てるためにーキャリア教育を踏まえた技術・家庭科教育」平成 20 年度、各教科等の新しい学習評価の展開(平成 22 年、ぎょうせい)、各教科・領域等における道德教育の進め方の実際(平成 22 年、教育出版)、子どもの力の育成第 2 巻 学習のしつけ・生活のしつけ(平成 19 年、教育開発研究所)、教職スタート初任者必修 59 の基本課題(平成 18 年、教育開発研究所)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
後藤 茂	学士(理学)	①・教具、実験を取り入れた視覚に訴える数学授業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最上位クラスにおける数学の大学受験指導</li> <li>・「心の学習」の題材選定とHRでの実践</li> </ul> ②なし ③・発表「秀明学園における『心の学習』」(平成22年6月) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「果たすべき中等教育の役割と責任」(月刊秀明平成21年5月号)</li> <li>・「教育力を駆使し、難関大学合格へ」(月刊秀明20年6月号)</li> <li>・発表「秀明学園の進路指導…東大理Ⅲ現役合格の秘訣」(平成19年)</li> </ul>
冷川 政利	音楽学士	①近代日本の音楽教育 ②日本歌曲振興会 ③21年11月日本歌曲振興会 定期演奏会 22年北里大学北里研究所メディカル病院 市民コンサート
宮澤 信一郎	工学修士	①自然言語処理、国際情報論 ②言語処理学会、経営情報学会、教育システム情報学会、日本社会情報学会、人工知能学会、情報処理学会、オフィス・オートメーション学会 ③・MT(Machine Translation) Summit XII 3rd Workshop on Patent Translation(開催地:オタワ カナダ)プログラム委員(2009) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大規模コーパスの効率的な Bleu 値計算方法の提案」共著、情報処理学会自然言語処理研究会報告 2009(2) pp.1-6</li> <li>・”Quality Analysis of Patent Parallel Corpus by Scale”, 共著 Proceeding of MT Summit X Workshop on Patent Translation(2005)</li> <li>・「機械翻訳ー21世紀のビジョン」共著、アジア太平洋機械翻訳協会(2000)</li> <li>・「要説 経営情報管理」共編著、白桃書房(1998)</li> </ul>
吉川 幸次	理学修士(物理学)	①素粒子論、数学教育、情報数学、人間形成論、比較文化論 ②日本物理学会、日本数学教育学会、数学教育学会 ③・平成6年8月～「英国の教育事情」月刊『秀明』連載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成7年7月～平成11年8月月刊誌『発言者』連載</li> <li>・平成14年～講義「人間形成論」「情報数学」「数学」「統計学」「比較文化論」「社会の出来事を数学的に理解する方法」「物質を構成する極小世界と極大世界の宇宙」</li> </ul>

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
Paul Conroy	Master of Education (TESOL)	①Comparative Jury Systems ( This is for Debate class preparations) ②日本英語交流連盟 ASIA TEFL ③Koban Eikaiwa -The Identification of the English conversation skills necessary for officers on duty at Chiba Prefecture Police Boxes
富樫 慎一	経営学修士号 (経営システム専攻)	①経営情報論、IT 戦略論、システム科学 ②経営情報学会、情報経営学会、地方自治学会、ソフトウェア科学会 ③「要説 情報管理論」(共著)、白桃書房、2001年10月 「OA 小事典」共著、有斐閣出版、1998年6月 戦略経営における IT 支援モデルの研究(ネットワーク環境における意思決定支援のモジュール研究)、2006年5月、経営情報学会発表 ネットワーク社会における情報資源活用の研究、秀明大学「紀要」、2006年3月、掲載 情報理倫理の歴史、秀明大学発表会、2008年11月、発表
久部 和彦	M.A. in Philosophy by Research.(修士)  B.A. in Philosophy with English Language.(学士)	①言語哲学・論理学・言語学 ②The Aristotelian Society (U.K.)・日本言語文化学会・言語問題総合研究会他 ③論文<言語・英語・論理(Language, English, Logic)>(言語研究論考05/06号—言語問題総合研究会編2007年)、研究発表 <大学の英語教育のあり方>(新潟薬科大学研究会2005年5月)、論文<規則に従うこと>とヴィトゲンシュタインの「公的」概念— M. Budd 教授の誤読>(言語研究論考97/98号—言語問題総合研究会編1999)、論文<ヴィトゲンシュタイン:言語と教育> (アイリス・プラザ第7号 発行—国際コミュニケーション英語研究所—小学館1997)、他。
宮崎 瑞之	学士(経済学) 学士(教育学) 修士(教育学)	①音声学、英語教育、社会言語学、翻訳論 ②英語発音表記学会、大学英語教育学会 (JACET) ③文部科学省検定中学校英語教科書「Columbus English Course」光村図書出版 平成 18 年 2 月、平成 14 年 2 月; 「電子メールと英語の話しことば・書きことば」『新たな情報時代が国際関係に与える影響と評価の研究』秀明大学国際研究センター No. 7 平成 14 年 3 月; “Multimedia: Applications for the Language Classroom” 八千代国際大学紀要『国際研究論集』第 9 巻第 1 号 平成 8 年 4 月

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
山口 桂子	商学士 商学修士	<p>①非営利組織の会計、会計基準の国際的集</p> <p>②日本会計研究学会、日本社会関連会計学会、国際会計研究学会、日本経営分析学会、証券経済学会、経営行動研究学会、国際ビジネス学会、非営利法人研究学会</p> <p>③「非営利組織の会計」黒川保美・石崎忠司編著『公共性志向の会計学』所収(2009.3.25.)中央経済社</p> <p>「非財務情報、非財務的価値、財務的リターン」日本経営倫理学会編『経営倫理用語辞典』所収(2008.2.28)白桃書房</p> <p>「医療経営のアカウントビリティ」現代会計研究会編『現代会計研究』所収(2002.7.28)白桃書房</p> <p>「会計基準の国際的調和化をめぐって」『税系通信』第55巻第15号(2000.12.1.)税務経理協会</p>
Gaby Benthien	学士(教育) 修士(国際教育) QEDD 博士(教育)在籍中	<p>①Foreign Language Education Second Language Acquisition Motivation Learning Styles Overseas study</p> <p>②JALT SIGs: Study Abroad College and University Education Asia TEFL</p> <p>③論文:秀明大学紀要2007, 2008 Motivation, Culture and Learning Styles:What are the Implications for Foreign Language Acquisition?</p> <p>出版:2005年 三笠 TOEIC Test 攻略 Drill 協力 2007年 リント 初めての英文Eメール(with 土谷望) 2007年~リント TOEIC PLUS Magazine ライティング講座</p> <p>社会活動: Shumei Evening English Salon(社会人英会話・Discussion Circle)</p> <p>2010年8月、9月 Presentation about Australia at English circles in Chiba</p>
大塚 時雄	博士 (国際情報通信学)	<p>①情報通信分野の経済学、情報教育、国際情報論</p> <p>②International Telecommunication Society, 情報通信学会</p> <p>③大塚時雄, 田中絵麻, 「子供のネット利用における安心・安全施策に関する研究」, 『生活経済研究』vol. 32, 2010年9月, pp.51-66。</p> <p>田尻信行, 大塚時雄, 三友仁志, 「電気通信分野におけるユニバーサルサービスの便益評価」, 『公益事業研究』61(1), 2009年6月, pp.37-49。</p>

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
小島 裕紀	修士 (国際政治経済学)	①タリム盆地東部地域住民のアイデンティティ研究 ②内陸アジア史学会 ③教員研究発表会「現代ウイグル社会に見られる古代信仰習俗の遺風」2009年 教員研究発表会「ソ連解体後の中央アジアにおける人口流出と現在」2008年 秀明大学紀要「グルジャ事件再考」－多民族共生社会実現への課題と展望－2005年
飯塚 雄三	修士(教育学)	①道徳教育の構造に関する研究 ―児童・生徒が機能的に道徳を学ぶために― ②日本道徳教育学会、日本学校教育学会、日本教材学会、日本ラグビー学会 ③「道徳教育のコンプライアンス」 宝仙学園短期大学紀要第33巻 2008 「道徳教育の方法に関する一考察」『道徳と教育』日本道徳教育学会 2004 「道徳教育の方法に関する一考察」 日本道徳教育学会第62回秋季大会発表 2003 『新しい道徳教育の研究』単著 学文社 2009 社会活動 東京都教育委員会人権尊重教育推進校～互いに認め支えあう人間関係の育成～
伊藤 保幸	学士(教育学)	①「小学校算数科における問題解決能力を高めるための教材の開発と指導法の工夫」 ②日本数学教育学会 東京都算数教育研究会 ③・足立区立小学校教育研究会算数部定例会の講師(平成22年、21年) ・足立区教育委員教科化研修会講演『算数のおもしろさを探る』(平成18年) ・小学校算数教科書『みんなと学ぶ小学校算数』(学校図書)の編集・執筆(平成16年) ・足立区立中島根小学校「算数教室」の指導ボランティア(平成22年、21年)
今村 久二	学士(教育学)	①初等国語科教育法、初等国語科教育における「単元学習」の成立 ②日本国語教育学会 ③○論文;「検証:『交流』新学習指導要領(活動)から(指導事項)へ……書くこと・読むこと」における交流の指導事項としての位置づけについて(日本国語教育学会『月刊国語教育研究』NO.453 2010年1月)○共著;『国語単元学習の創造』(日本国語教育学会 監修 東洋館出版社)○日本教育会セミナー;パネルディスカッション2010年6月;(コーディネーター)テーマ;「各教科における言語活動の充実」

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
岡本 昌己	学士(文学)	①「図画工作・美術教育における造形的な創造活動のあり方」 ②「美術科教育学会」「大学美術教育学会」 ③・「初任者研修実務必携(共著)」<第一法規> 平成22年度出版 ・青梅市教育委員会事務点検有識者 平成21年度まで ・青梅市教育委員会教育委員 平成21年12月から ・東京都立青梅総合高等学校運営連絡協議会委員・学校評価委員 平成21年7月から ・「ギャラリー 繭蔵・まゆぐら」<青梅市> 平成21年2月(版画・作品発表)
押尾 賢一	学士(教育学)	①初等教育学、初等社会、初等社会科教育学 ②学芸地理学会 ③公立学校教員、教育行政管理職、杉並区第三者評価委員、「言語活動の充実」平成22年学校図書、 「学校教育研究所年報・提言」平成21年学校教育研究所
押味 忠雄	学士(教育学)	①「子どもの自然認識と小学校理科の指導法」 ②「日本理科教育学会」 ③「事物・現象を子どもの目線で追究する楽しい理科授業」(論文2010年啓林館) 「授業力グレードアップサマーセミナーゼミ」(講演2010年神奈川県愛川町教育委員会) 「寒川町民ワークショップ」(委員2010年神奈川県寒川町) 「小学校理科の講義を終えての一断章」(発表 教員研修発表会2009年) 「寒川町生涯学習推進会議」(委員2009～10年神奈川県寒川町教育委員会)
小泉 功	教育学学士	①・「性教育は転換期を迎えたか」平成17年8月 日本思春期学会 ・「児童・生徒の性」平成20年 東京都幼小中高心性教育研究会 ②日本思春期学会(評議委員)・全国性教育研究団体連絡協議会・東京都幼小中高心性教育研究会 ③・東京都幼小中高心性教育研究会「児童・生徒の性」3年ごと調査研究中 ・「生徒一人一人を見つめて」平成15年3月 協同出版・「児童・生徒の性」平成17年3月 東京都幼小中高心性教育研究会編 2005年調査「学校図書」 ・「教育実習の手引き」平成21年4月 東京学芸大学 教育実践研究支援センター編

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
甲田 充彦	学士(体育学)	①学校における実践的なコミュニケーション能力の育成 ②日本教育経営学会 ③中央教育審議会教育課程部会、教員養成部会委員 平成15年6月から平成18年6月 高等学校学習指導要領改訂の重点 2008年 時事通信社雑誌 教職へのマイルストーン 2010年 秀明出版会
近藤 公一	修士(教育学)	①インド農業経済史, 歴史と教育 ②「歴史科学と教育」研究会 ③共著『世界史B指導資料』(三省堂・2004年) 共著『中等教育の使命と実践 秀明学園の取り組み』(秀明出版会・2008年) 「感情を制御できない子どもたち」(『月刊秀明』・2010年)他 研究発表:「インドに対する感覚の問題」(秀明大学教員研究発表・2010年)他 社会活動:鎌ヶ谷市教育検討懇話会委員(2009～2010年)
杉山 雅勇	学士(教育学)	①小学校体育科教育 ②所属なし ③○「心と体の健康づくりー運動領域、保健・食育を通してー」平成21年発表 ○「身をのりだし、夢中になる体育の授業をめぐって」平成21年発表 ○「運動の魅力を感じ、進んで運動やスポーツに親しむ児童の育成」平成22年発表 ○「かかわり合いの中で高める体育授業をめざして」等
諏訪 通法	理学修士	①遺伝子組換え植物の技術開発動向調査 ②日本農芸化学学会 ③「米国特許からみた遺伝子組換え植物の技術開発動向」(全面改訂版)(KK アイピーソリューションズ 2009年12月)(共著) 「A Trend of Technological Development in GM Plants by Investing the United States Patents」(KK IP solutions Oct.1st,2007)(joint work) 「米国特許からみた遺伝子組換え植物の技術開発動向」(秀明大学紀要 No.4 2007年3月) 「水道水の発臭機構に関する論文」数編、「用廃水ハンドブック」(部分執筆)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
関口 昌昭	教育学修士	①英語音声学、英語教育 ②なし ③『TOEIC Test 攻略ドリル』(三笠書房、自著、2006年7月) 『中等教育の使命と実践』(秀明出版会、共著、2008年) ‘勉強と遊び’ (月刊秀明、2007年10月) 社会活動 英検面接委員、埼玉県ロータリークラブ学友会員
角田 史幸	修士(社会学)	①哲学、現代思想 ②経済社会学会、一橋大学哲学・社会思想学会 ③『教育の臨界－教育的理性批判』2005年、情況出版 (共編著)。『国語という呪縛』2010年、吉川弘文館(共著)。 『マルクスへ帰れ』2010年、こぶし書房(翻訳)。
寺田 信彦	学士(文学)	①教育行政と学校における教育文化 学校経営と教育法規 ②なし ③「千葉県定時制・通信制ステップアップ事業実践研究報告書」平成19年 ・県立学校校長会、中学校長会、PTA 連合会等の研修会等で講演 平成18年～ ・千葉県教育委員会「特別免許状検定審査会」委員 平成19年～平成21年 ・千葉県教育委員会「千葉県定時制・通信制チャレンジ協議会」委員長 平成19年～21年
中村 克彦	学士(経済学)	①「キャリアカウンセリングにおける HELPING について」 ②・日本キャリア教育学会・日本学校教育相談学会・ビジネス教育実践学会 ③・先達・渋沢栄一に学ぶ(単著、平成17年、『高崎商科大学叢書 第2号』) ・学校経営とマーケティング(単著、平成17年、『埼玉商業教育』) ・商業教育の課題への一考察(単著、平成18年、月刊『産業と教育』) ・高校生の職業間の実態とその周辺(単著、平成18年) ・学生のためのビジネス入門(共著、平成21年、非売品)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
深見 眞一	学士(教育学)	①数学的な考え方を育てる算数科教育のあり方 ②日本数学教育学会、東京都算数教育研究会 ③神奈川県伊勢原市教育委員会指定研究校(伊勢原小学校)研究発表会指導 東京都瑞穂町教育委員会指定研究校(瑞穂第五小学校)研究発表会指導 武蔵村山市小学校教育研究会、瑞穂町小学校教育研究会等の研究会指導 日本ボーイスカウト東京連盟新多磨地区事務長、多摩第一団団委員長
前 博之	教育学士	①国語科教育研究－国語科教材研究、国語科授業研究、 ②日本国語教育学会 ③・「学校教師学部における国語教育と教師育成」平成19年6月 月刊「秀明」7月号 ・「国語科の単元学習の実際」平成20年6月 月刊「秀明」11月号 ・「教育実践演習Ⅱにおける学習指導案再構成の実際」平成21年6月 秀明大学教員研修会 発表 ・「講座 名著講読の展開 ―加藤周一著『羊の歌―わが回想―』を読む 平成22年3月 秀明大学紀要 ・「名著講読『羊の歌―わが回想―』(加藤周一著)の講読の展開と評価 平成22年6月 秀明大学教員研修会発表
松井 茂	文学研究科・修士	①日本中世の社会と権力、社会科教育と効果的な学習方法 ②東北史学会、東北大学文学部国史談話会、日本史研究会、歴史学研究会、日本歴史学会 ③・「真言宗と9世紀の五輪塔」『秀明大学紀要』第6号 2009年 ・「白河・鳥羽院政期の鳥羽殿と鳥羽」『秀明大学紀要』第2号 2005年 ・(秀明大学教員研修会発表)地名と地形から考える地域の歴史―中世・陸奥国好島庄と戦後・金沢の歴史― 2010年10月
吉田 聡	Master of Philosophy (Shakespeare Studies)	①エリザベス朝演劇、辞書編纂 ②日本中世英語英文学会 ③1『ジーニアス英和辞典』第4版(大修館書店, 2006年12月)(共著) 2『福祉・介護・リハビリ英語小事典』(英光社, 2008年4月)(単著) 3 “Measures to become a ‘woman’ -- Dance for the <i>onnagata</i> and Song for the Elizabethan boy actor” (杏林大学研究報告教養部門第18巻, pp.75-83, 2001年3月3日)(単著論文)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
吉田 英信	理学博士	①(楕円型・放物型)ポテンシャル論 ②日本数学会 ③On a covering Property of Minimally thin sets at infinity in a cone Advances Appl.Math. Sci., 1(2009),361-380. (with I. Miyamoto) On a covering Property of Minimally thin sets at infinity in a cylinder Mathematica Montisnigri, 20,21(2007,2008), 35-54. (with I. Miyamoto)
榎森 啓元	理学博士	①太陽系形成理論 ②日本惑星科学会 ③Nouda Akiyoshi, Emori, Hiroyuki, and Nakazawa, Kiyoshi ;2009: Earth and Planets and Space, 61, 779-796; Collision between ProtoPlanets : data analysis and classification Yamada, Kou, Emori, Hiroyuki, and Nakazawa, Kiyoshi; 2008 ; Earth, Planets and Space, 60, 661-679; Time-evolution of bubble formation in a viscous liquid Emori, Hiroyuki, Nakazawa, Kiyoshi, and Iwasaki, Kazunori ; 2008; Earth Planet and Space, Earth Planets Space, 60, 681-691; Probability distribution of orbital crossing times in protoplanetary system Yun, YoungSeok, Emori, Hiroyuki and Nakazawa, Kiyoshi ; 2007; Earth Planet and Space, vol. 59, 631-643, Thermal and Hydrostatic Structure of the Protoplanetary Nebula Exposed to Stellar Radiation and Stellar Wind from the Central Star Yamada, Kou. Emori, Hiroyuki, and Nakazawa, Kiyoshi, 2006, Earth Planets and Space, vol.58, 865-872, Bubble expansion rates in viscous compressible liquid
大野 早苗	博士(人文科学)	①日本語、日本語教育 ②日本語教育学会、日本語文法学会、表現学会 ③「社説の文体—デアル体からダ体へ」『表現研究』91号(2010年、単著) 『U-CANの日本語能力試験N1予想問題集』ユーキャン(2010年、共著) 『U-CANの日本語能力試験N2予想問題集』ユーキャン(2010年、共著)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
田辺 江美子	法学修士	①人権の普遍性について(憲法・フランス法) ②日本公法学会・比較法学会・日仏法学会 ③『憲法概説 補訂版』法律文化社 平成 18 年 『比較法学の課題と展望』共著 信山社 平成 14 年 『比較法行政叢書 3 現代行政の統制』共著 成文堂 平成 2 年 「1995 年 8 月 4 日の憲法的法律第 880 号」日仏法学 20(日仏法学会)有斐閣 平成 9 年
花屋 哲郎	学士(人間科学) 修士(教育学)	①生徒指導の総合プログラムに関する基礎的研究 ②日本生徒指導学会、日本キャリア教育学会、日本教育心理学会、日本教師教育学会 ③「感情の問題と調整」(庄司一子編著『スクールメンタルヘルス』, 印刷中, 東京書籍) 「心理学研究における感情概念の検討」(秀明大学紀要, 2010)
安岡 直	修士(哲学)	①社会哲学 20 世紀初期の革命思想 ②日本哲学会 社会思想史学会 ③『日本はなぜ自滅したのか』(2010 年 秀明出版会) 『社会哲学のアクチュアリティ』(共著、2009 年 未知谷)
岡 敬一郎	修士(教育学)	①・戦後日本の教育行政改革に関する研究 ・日本の生涯学習行政に関する研究 ②・日本教育学会 ・日本教育行政学会 ・日本教育制度学会 ・教育史学会 ・東北教育学会 ③・「会員制による生涯学習施策の展開－北海道滝川市を事例として－」大桃敏行・背戸博史編著『生涯学習－多様化する自治体施策－』東洋館出版社、2010 年 ・「南原繁の戦後教育行政改革構想の研究」日本教育行政学会第 44 回大会自由研究発表、2009 年 ・(共著)「地方公共団体の生涯学習施策における住民参加の拡大と行政の役割」『教育制度学研究』第 14 号、日本教育制度学会、2007 年
片岡 久美	博士(理学)	①アジアを中心とした総観スケールの気候変化(台風, 災害, 都市温暖化) ②日本地理学会, 日本気象学会, 日本自然災害学会, 東北地理学会 ③・Kataoka, K., F. Matsumoto, T. Ichinose, M. Taniguchi, 2009, Urban Warming Trends in Several Large Asian Cities over the Last 100 Years, STOTEN, 407, 3112-3119. ・片岡久美, 2007, 日本列島における台風通過時の月別平均降水量分布と大雨発生頻度, 地理学評論, 80, 99-120. ・片岡久美, 2003, 北太平洋西部中緯度における台風にまで発達した擾乱の経路, 天気, 50, 705-714.

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
桐原 礼	博士(教育学)	①音楽教育における異文化理解, スペインの音楽教育, 多文化共生を目指した音楽授業 ②日本音楽教育学会, 異文化間教育学会, 日本学校音楽教育実践学会, 東洋音楽学会, 日本保育学会 ③「日本の伝統的な音楽の鑑賞学習に関する一考察」ポップ教材を導入として(全日本音楽教育研究会)2010 「世界の諸民族の音楽による異文化理解—自文化への気づきの視点から」(博士論文, 東京学芸大学)2009 「異文化理解をめざした音楽学習のプロセス—アジア諸国の箏類の鑑賞学習を例として(日本音楽教育学会)2005 「小学校低学年音楽科の授業における国際交流の試み—音楽的な特徴の共通性に着目して」(音楽鑑賞教育)2004
後藤 丈志	博士(数理学)	①整数論 ②日本数学会、日本応用数理学会 ③学術論文:(With Y. Ohno) Odd perfect numbers have a prime factor exceeding $10^8$ , Mathematics of Computation <b>77</b> (2008), 1859-1868.
莊 巖	修士(教育学)	①外国背景の子供への母国語教育と心のケア ②日中現代教育学会 ③「在日新華人子女の母語・母文化教育」(『秀明』2009年)、「働く中国人からみた日本の社会と会社」(吹田ロータリークラブにおける講演 2008年)、「楽しく学ぼう中国語」(横浜日中友好協会における講演 2008年)、「在日新華僑華人子女の母国語教育についての一考察——同源学校を例に」(『日中教育研究交流会議研究年報』2008)、「年齢と子供の発達」(異文化比較教育学会研究紀要『比較教育研究』2007)、「在日華人女性の現状と課題」(『日中教育研究交流会議会報』2007) ⑦『仕事のための基礎中国語』(金星堂、2007)
鈴木 哲也	修士(教育学)	①理科教育における生命尊重、学校飼育動物の歴史、生命倫理や環境倫理の教材開発 ②日本生物教育学会、日本理科教育学会、日本環境教育学会、日本教育学会、日本生命倫理学会等 ③・明治後期から大正初期における「学校飼育動物」の導入過程、『秀明大学紀要』、第7号、pp.160-175(平成 22 年3月) ・理科教育における生命倫理の授業開発(1)－「脳死と心臓死」から「クローンとES細胞」への連続した授業を通して－、『埼玉純真短期大学研究論文集』、第 2 号、pp.73-79(平成 21 年3月) ・自由の森学園中学校・高等学校第25回公開教育研究会教科別分科会助言者(平成 21 年 11 月)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
田中 元	博士(理学)	①誘起 CD スペクトルを用いた DNA-ligand 相互作用の定量的解析および新規 ligand 開発 ②日本化学会, 日本理科教育学会 ③” DNA Sequence-specific Structure and Flexibility Probed by Induced CD Spectroscopy of Porphyrins ”, H. Tanaka and R. Kuroda, International Conference on Bioinorganic Chemistry Vol.8, (1997) 99 「水溶性ポルフィリンの誘起 CD スペクトルを用いた DNA-ligand 相互作用の定量的解析:H2TMpyP の AT 配列特異性」 田中元・黒田玲子 第45回錯体化学討論会 福岡 1995年10月
垂井 泰子	博士(文学)	①ヘンリー・ジェームズの小説 ②日本英文学会、The Henry James Society ③“Women and Houses in Henry James’s <i>The Other House</i> ” 『秀明大学紀要』第7号 2010年 “The Homeless Child: <i>What Maisie Knew</i> ” 『リーディング』第26号 2005年 “Houses and Class in Henry James’s <i>In the Cage</i> ” 『リーディング』第25号 2004年
西村 治	博士(理学)	①リー群に関する位相幾何学的研究 ②なし ③論文1 Osamu Nishimura:Classification theorems for cohomology rings of finite H-spaces. J. Math. Kyoto Univ. 43 (2003), no. 1, 187-202. 論文2 Osamu Nishimura:A note on homotopy normality of H-spaces. J. Math. Kyoto Univ. 46 (2006), no. 4, 913-921.
藤井 真生	博士(文学)	①中世チェコ史(中世国家の形成、中世ナショナリズム、ドイツ人植民運動) ②史学研究会、日本西洋史学会、東欧史研究会、西洋中世学会 ③1、「人文主義と宗教改革——チェコにおける人文主義の展開とフス派運動の影響」南川高志編著『知と学びのヨーロッパ史』ミネルヴァ書房、2007年 2、「中世王権の「首都形成」——チェコの君主たちとプラハ——」今谷明編『王権と都市』思文閣出版、2008年 3、「カレル4世時代の年代記にみる「チェコ人」意識」『西洋史学』第227号(2008) 4、「『ハーメルンの笛吹き男』のその後」『秀明大学紀要』7号(2010) 5、「中世史研究の現状を知る」服部良久・南川高志・小山哲・金澤周作編『人文学の接近法 西洋史を学ぶ』京都大学学術出版会、2010年

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
吉田 和史	修士(言語学)	①日英語の否定の意味・語用論的研究 ②日本英語学会、英語語法文法学会、筑波英語学会 ③ ‘ <i>Made and Metalinguistic Negation in Japanese,</i> ’ 2004 年、 <i>Tsukuba English Studies</i> 22、Tsukuba English Linguistic Society。「条件文における言語の経済性」、『事象と言語形式』三修社 2002 年。
岩田 温	修士(政治学)	①保守主義、国家論等の政治哲学。被占領期の日本政治史。 ②公共政策学会、日本経済思想史研究会、日本保守主義研究会。 ③『日本人の歴史哲学』(展転社、2005 年) 「保守主義と国体」(拓殖大学日本文化研究所紀要『新日本学』第 16 号 2010 年) 「吉田内閣成立の過程」(日本保守主義研究会学術紀要『濠標』第 60 号 2009 年)等。
飯沼 茂樹	文学士	①「英語資格試験に対する企業の評価について」 ②日本英語学会(2011年に入会予定) ③「行動派のための英会話」1991年(日東書院) 「海外旅行オールラウンド英会話」1988(日東書院) 講師:上智大学『コミュニテイカレッジ』1988/9 千葉県我孫子市男女共同参画審議委員2005/08 千葉県我孫子市立我孫子中学評議委員2006/08
大庭 由子	修士(学術)	①ニュージーランドにおける教育と文化(多文化共生の視点から) ②日本国際教育学会、日本学習社会学会、日本社会教育学会、 ③『多様な英語世界の言葉と文化』共著 2008 年 成文堂 『WEBLINK最新行政大事典1』共著 2010年 ぎょうせい 「ニュージーランドの幼児教育における政策転換」早稲田大学教育学会紀要9号(2006) 「沖縄の音楽と観光に見るアンビバレンス—人々とアイデンティティ構築」秀明大学紀要第 7 号(2010)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
神尾 清隆	経済学士	①航空経営 ②無し(進化経済学会 オブザーバー参加) ③著書 「観光学辞典」(日本大学商学部教授 長谷川正弘氏との共著 出版社名:同友館, 刊行年:1996年) 「観光ビジネス論」(日本大学商学部教授 長谷川正弘氏との共著 出版社名:同友館, 1997年) 「エアライン オペレーション入門」 ANA総合研究所編集 出版社名:(株)ぎょうせい 2009年)
芝田 征二	博士(教育学)	①1. 言語習得及び獲得 2. 多言語社会の言語政策・教育 3. TOIEC TEST による習熟度別教育 4. アジア圏イスラム研究 5. 中世の葡語研究 ②1. 日本ロマンス語学会(理事)・日本比較生活学会(理事) ③「アジアの英語(共著)」1990年12月くろしお出版 pp.157～192 「Easy Nursing English(共著)」2009年2月、南山堂 「国立フルネイ・タルサーラム大学(UBD)における 英語を媒介とする教育の現状と歴史的背景(単著)」2009年3月、立命館国際研究、21巻3号(通巻74号)pp.45-64
栃木 立人	文学士	①言葉「観光」と「旅」の使い分け ②日本国際観光学会、日本ホスピタリティ・マネジメント学会 ③「モノの呼び名事典」(英文対訳)共著 日東書院 2009年 「知ってる単語で英会話」単著 大泉書店 2003年 「日常生活の英会話」単著 ナツメ者 2002年 など 日本エコツーリズム協会々員、埼玉県川越市文化財保護協会(社会活動) 「やまと言葉の“たび”と古英語の“fare”」日本国際観光学会 2004年発表
森山 明	学士(経営学)	①司馬遼太郎における旅のもつ意味。 ②国際観光学会 ③●出版物「インバウンド概論」(2006年7月、(株)ジェイティービー能力開発 発行)の編集 ●依頼原稿「どうなる、外国人の訪日旅行」(2008年8月、「ESTRELA」財団法人統計情報研究センター発行)

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
横田 澄司	博士(経済学) 博士(人間、環境学)	①高付加価値商品(およびサービス)の分析と開発 ②商品開発・管理学会 名誉会長、中国経営管理学会 顧問、 日本社会心理学会 名誉会員、日本商業学会 会員 ③「遊、誘、悠の商品開発」(09年、同友館)、「商品開発・管理入門」(07年、中央経済社)、 「企業とマネジメント」(04年、学芸叢林)、「人間論<人間になろう>の探求」(04年、中央公論社)、 「現在社会とマネジメント」(03年、中部日本教育分科会) 「商品開発および管理」(03年、三恵社)、「価値創造の企業と商品開発」(00年、泉文堂)
風見 信昭	学士(経営学)	①森林と川辺の地域における観光振興について ②日本レジャー・レクリエーション学会、全国森林インストラクター会 ③秀明大学教員研究発表会「森林ツーリズムと地域振興」(南房総地区のガンコ山) 社会活動:(1)千葉県森づくりに関してボランティア活動(南房総市のガンコ山での活動等) (2)水辺のスポーツとしてのカヌーの普及活動と国体など各競技大会に審査員として参加 (3)観光業界(旅行業)に30有余年勤務。団体営業、商品企画、海外勤務に従事
川本 義郎	学士(商学士)	①管理会計、財務諸表論 ②なし ③著書:『日商簿記検定2級模擬試験問題集』平成19年 株クレアール(共著) 『日商簿記検定3級模擬試験問題集』平成18年 株クレアール(共著) 『日商簿記検定1級模擬試験問題集』平成17年 株クレアール(共著) 『日商簿記2級ストレート商業簿記テキスト』平成15年 株クレアール(共著) 『情報処理基礎講座7 商業』初版平成元年 マグロウヒル出版(共著) 論文:『簿記の基本と連結財務諸表について』平成22年 秀明大学教員研修発表会 『管理会計・予算実績差異分析について』平成20年 秀明大学紀要 社会活動:八千代商工会議所簿記検定試験委員 平成22年～、船橋商工会議所簿記検定試験委員 平成13年～平成21年 東京商工会議所簿記検定試験委員 平成元年～平成8年、全国経理教育協会簿記能力検定試験委員 昭和60年～ 昭和63年

教員氏名	学位	①研究テーマ、②所属学会、③主な業績など
滝島 克也	学士(教育学)	①健康法について ②なし ③秀明大学教員研究発表会テーマ「自己の健康法」 2010年千葉国体実行委員
堀井 光俊	博士(社会学、英国立ケント大学)	①リスク認識の社会的分析、＜宗教＞概念の社会的分析 ②British Sociological Association、日本社会学会 ③「インフルエンザ予防マスクの表象」『秀明大学紀要』2010年 『女性専用車両の社会学』(秀明出版会、2009年) Deprofessionalisation of Buddhist priests in contemporary Japan. Electronic Journal of Contemporary Japanese Studies, 14 March 2006. <a href="http://www.japanesestudies.org.uk/articles/2006/Horii.html">http://www.japanesestudies.org.uk/articles/2006/Horii.html</a>
吉尾 博和	修士(経済学)	①シュンペーターの経済社会学 ②経済社会学会、アジア政経学会、日本経済政策学会、経済学史学会、International Joseph A.Schumpeter Society ③(学会報告)平成10年6月、経済社会学会東部部会研究会(早稲田大学)にて研究報告。 (研究論文)1)「シュンペーターの総合的社会科学と科学進化」(単)平成20年3月「秀明大学紀要」第5号 2)「シュンペーターの社会科学体系」(単)平成19年3月「秀明大学紀要」第4号 3)“Schumpeter’s Theory of Scientific Evolution-Economic Sociological Analysis-”(単)平成17年3月「秀明大学紀要」第2号
篠 暁	学士(経済学)	①専門学校での経験を生かし、国家試験である旅行業務取扱管理者試験(国内・総合)合格率アップのノウハウを構築。具体的には、少ない授業コマ数でより良い結果(合格)を出すためのポイントを押さえた教材の作成。 ②なし ③専門学校で担当した国家試験対策において、過去問題の出題傾向の分析、直前対策授業の実施や教材の工夫・作成に努め、全国平均を大きく上回る合格率(20% up)の実現。 「ビジネスマンの海外出張ハンドブック」(渡航手続&出入国手続の分野担当)1980 ダイヤモンド社 「一般旅行業務取扱主任者試験・解答解説集」(海外旅行分野を担当) 中央出版 1995年～1997年